



東洋大学との連携による 「デジタルエンジニアリングアカデミーseason6」開講について ～「ものづくりの深化」を目指す伴走支援型連続講座～

武蔵野銀行（頭取 長堀 和正）は、2026年5月より、東洋大学工業技術研究所（所長 香取 慶一）と連携し、生産性向上に向けた中小製造業のデジタル化を伴走支援する連続講座「デジタルエンジニアリングアカデミーseason6」を開講いたしますので、お知らせします。

当行では、中小製造のものづくり現場におけるデジタル化・自動化技術導入と、その担い手となる人材育成を支援するため、2018年より「デジタルエンジニアリングアカデミー」を開講いたしました。本講座は専門家の講義や実習など実践的プログラムを特徴としており、生産性向上に繋がるデジタル化を実現する企業を数多く輩出しております。

昨今の物価上昇や人手不足により、デジタル化による生産性向上の要請がこれまで以上に高まるなか、6期目となる本講座では「ものづくりDXの深化」をテーマに、東洋大学の学術的知見やネットワークを活かした講義に加え、グループワークを通じた参加者同士の知見共有・交流などにより、各社の具体的な課題解決に繋げていただける内容といたしました。

また、インテリジェント端末「M5 Stack」（センサーや通信機能を備えた小型 IoT 開発デバイス）を用いた実習では、参加者一人ひとりの習熟度に対応し、データ取得から制御技術への活用まで学べるプログラムをご用意しております。

《デジタルエンジニアリングアカデミーseason6の概要》

日 程	5月～12月（全8回）14：00～17：00		
会 場	武蔵野銀行本店2階「M's SQUARE」、東洋大学川越キャンパス		
対 象	製造業の経営者や技術・現場責任者、担当者の方など		
定 員	20名（1社2名まで）	受講料	50,000円（税込）／1名あたり
主 催	武蔵野銀行、東洋大学工業技術研究所	共 催	ぶぎん地域経済研究所
後 援	経済産業省 関東経済産業局、一般社団法人 機械振興協会技術研究所 ぶぎんシステムサービス 株式会社		
内 容	第1回	5月20日	オリエンテーション、基調講演 《名刺交換会》
	第2回	6月17日	M5 stack実習 1回目
	第3回	6月24日	M5 stack実習 2回目
	第4回	7月22日	各社取組テーマ発表会
	第5回	8月26日	グループワーク 《技術交流会》
	第6回	9月16日	工場見学
	第7回	10月21日	特別講演、グループワーク
	第8回	12月9日	成果報告会 《技術交流会》

以 上

報道機関からのお問い合わせ先
地域サポート部 地域価値創造室 四條 裕貴
TEL (048) 641-6111 (代表)

デジタルエンジニアリングアカデミー

season6 - ものづくりDXの深化 -

知識のインプットから各社のデジタル実装の方法論検討、計画から実践まで一気通貫で伴走支援します！



デジタルエンジニアリングアカデミーの特徴

- デジタル化で生産現場の個社課題の解決を目指します
- データ取得のツール「M5stack」の実習を習熟度別に実施いたします。（初心者向け、経験者向け）
- デジタル人材の育成と企業の垣根を越えた仲間作りの場（共創の場）を提供します
- 講師・ファシリテーターが伴走支援します（技術面での助言、ソリューション・専門家紹介等）

日程	2026年5月20日（水）～ 2026年12月9日（水） 全8回シリーズ
時間	14:00～17:00 ※内容により変更の可能性がございます。
対象者	主に製造業の経営者、技術・現場責任者、担当者の方など
定員	20名（1社あたり2名まで）
受講料	50,000円／1名あたり ※実習費込み 会場までの交通費は自己負担となります。
会場	武蔵野銀行 本店 2階 M's SQUARE、東洋大学 川越キャンパス
共催	株式会社 ぶぎん地域経済研究所
後援	経済産業省 関東経済産業局、一般財団法人 機械振興協会技術研究所 ぶぎんシステムサービス 株式会社

カリキュラム及び申込方法は裏面をご覧ください

カリキュラム

第1回	5/20 (水)	オリエンテーション、基調講演	《名刺交換会》
第2回	6/17 (水)	M5stack実習① (ベーシックコース、アドバンスコース)	個別訪問
第3回	6/24 (水)	M5stack実習② (ベーシックコース、アドバンスコース)	
第4回	7/22 (水)	各社取組テーマ発表会	
第5回	8/26 (水)	グループワーク	《技術交流会》
第6回	9/16 (水)	工場見学	
第7回	10/21 (水)	特別講演、グループワーク	
第8回	12/9 (水)	成果報告会	《技術交流会》

取組事例A社

※内容は変更となる場合がございます。

課題

- 別室での自動検査装置の稼動状況がわからず、チョコ停が発生している

解決策

- 検査装置のアラームをslackへ通知するシステムの構築

成果

- 装置の稼動時間の増加による生産性向上

取組事例B社

課題

- 標準作業時間が設定されておらず、個人の力量にまかしている状況

解決策

- M5stack及びRFIDリーダで測定システムを構築

成果

- 正確なデータ収集による標準作業時間を設定
- ボトルネックの可視化、作業者のスキルの可視化、作業日報の廃止を実現

講師陣

松元 明弘

東洋大学 理工学部 機械工学科 教授
専門分野：機械工学、知能機械学・機械システム 等

横田 祥

東洋大学 理工学部 機械工学科 教授
専門分野：情報学、知覚情報処理・知能ロボティクス 等

神田 雄一

東洋大学 名誉教授 (専門分野 生産工学)
経歴：東洋大学 副学長 等 歴任

山本 碩徳

武蔵野銀行 特別顧問 (専門分野 生産技術)
経歴：キヤノン電子(株) 副社長 等 歴任



(実習キット M5stack)

申込方法

下記のいずれかの方法でお申込みください。申込締切：2026年5月15日(金)

① 専用フォーム



② メール (本文に以下の項目を記載し、送付ください)

宛 先：tisa-souzou@musashino.bank

記載内容：①参加者名 ②会社名 ③部署・役職名

④住所 ⑤電話番号・メールアドレス

⑥取引店 (取引がない場合は取引なしと記載ください。)

【QRコードについて】「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

【個人情報の取扱いについて】

※ ご記入いただいた個人情報については、今後の「デジタルエンジニアリングアカデミー」のご案内や、武蔵野銀行または東洋大学が主催する講演会・セミナー等のご案内・ご連絡に使用させていただきます。また、受講者名簿を配布する予定であり、ご記入いただいた内容を掲載させていただきます。予めご了承ください。

※ 本講座は、「デジタルエンジニアリングアカデミー」参加を目的とし、武蔵野銀行の取り扱う特定の商品等をご案内するものではありません。

※ 個人情報の取扱いにつきましては、主催団体各ホームページにて、個人情報保護方針として定めております。

(株式会社武蔵野銀行) <https://www.musashinobank.co.jp/privacy/> (東洋大学) <https://www.toyo.ac.jp/about/effort-activity/privacy/>

(ぶぎん地域経済研究所) <https://www.bugin-eri.co.jp/policy/>

【問い合わせ先】

武蔵野銀行 地域サポート部 地域価値創造室 四條 (しじょう)
電話番号 048-641-6111(代表) 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝除く)
メールアドレス tisa-souzou@musashino.bank